

一般社団法人島田青年会議所 2022年度 基本資料

基本理念

地域の課題を解決し持続可能な地域を目指す
とともに個性が輝く魅力ある団体を創る

基本方針

1. 地域課題の把握と解決のための研究
2. 地域課題に対し、持続可能で波及する解決策の実行
3. 青年会議所運動の効果的な発信
4. 地域の未来を担う青年の発掘と波及による会員拡大
5. 継承されてきた基本を見直し、新時代を見据えた組織構築

スローガン

知覚動考

～楽しもう!JC～

理事長所信

一般社団法人島田青年会議所

理事長 落合 辰也

はじめに

2020年に発生した新型コロナウイルス感染の拡大により、世界は大きな課題に直面しました。日本においても、社会や経済に大きな影響を与え、特にイベントや集会などが軒並み中止となり、青年会議所を含めた各諸団体の活動は自粛となりました。2021年、社会はWithコロナの時代となり、リモートワークや感染拡大防止策を活用しながら、新しい時代へと歩みを進めました。島田青年会議所もこの2年、地域の人びとのために自分たちができることを、試行錯誤しながら追求し歩んで参りました。Withコロナの時代から人々が何も気にせず笑顔で会えるAfterコロナに向け、我々は地域の人びとのためによりよい社会を目指し運動を起こして参ります。それが、1949年終戦後の焦土と化した日本に対し「新日本の再建は我々青年の仕事である。」と奮起した70年以上続く創始の想いと島田青年会議所に携われたすべての先輩諸兄の地域への想いからなる我々の大切な志です。青年会議所は20歳から40歳までの品格ある青年の団体です。若く未熟な我々が地域を豊かにする運動を起こすためには、知識を広げ考え抜くことが必要です。そのすべての行動起点はとにかく動くことです。行動一つひとつが変化を起こし、多くの可能性を見つけることができます。地域の課題を他人事として捉えるのではなく、己を律し自分のできる以上のことを仲間とともに行動することが明るい未来を目指すうえで、最も重要であると信じています。

ひとづくり・まちづくり

2020年に行われた第21回国勢調査の速報によると、静岡県の人口推移は前回の2015年に比べ1.8%減少していることがわかります。我々の活動エリアである島田市、川根本町においても減少の傾向にあり、島田市は2.4%の減少、川根本町に至っては13.7%の減少が確認されました。我々の地域である島田市・川根本町は、雄大な自然を有しており、この地域の魅力の一つといえます。また、地域に潜在する歴史的文化や

伝統、人物、食材、景観など、この地域にはまだまだ知られていない数多くの観光資源があります。この一つひとつの魅力の点を線で結ぶことにより、より魅力的なまちとして、この地域を積極的に発信することができます。そして、これらの観光資源や地域の人の魅力を多くの方々に知ってもらうことで、この地域の交流人口の拡大に努めて参ります。

国が進める「G I G A（ギガ）スクール構想」の一環で小中学生一人ひとりにタブレット端末の配備が始まり、学校でのデジタル活用が進む中、I Tを積極的な社会参加の道具と捉え、よき使い手を目指す「デジタル・シチズンシップ教育」の考えが日本でも広がり始めました。インターネットが身近になっている現代で子供たちをインターネットの危険から遠ざけるのではなく、よき使い手として子供たちがインターネットと付き合っていけるようにしなくてはなりません。インターネットの活用により、子供たちは世界中の人とコミュニケーションを取り、手軽に知識を得ることができます。子供たちの可能性を否定せず、ともに学んでいくことで、子供たちにとって安心して成長していける環境を作って参ります。

会員の拡大と戦略的広報

全国の青年会議所の会員の減少が叫ばれてから、数年が経ち、現在もこの状況を打破することができずに会員減少が続いています。島田青年会議所も同様に10年前、会員は50名以上いた会員が、この10年で30名となってしまいました。このまま会員が減少すると、島田青年会議所の存続が危ぶまれてしまいます。青年会議所という地域のために行動を起こし続ける奉仕の精神を未来へとつなげていくためにも、本年度においても会員の拡大に尽力して参ります。人は人によって磨かれ、かけがえのない経験をすることで自己の成長につながります。我々青年のエネルギーにあふれるこの組織を今後の地域を担う多くの若者に広めることが、地域の明るい未来を創る礎になります。

会員の拡大を行ううえで、青年会議所の運動を広く地域の住民に伝えていく必要があります。この地域の住民に我々の活動を理解、共感していただくために、効率よく効果的に我々の活動を発信して参ります。

未来を見据えた組織運営

時代は流れ組織の在り方や運営の仕方は変わっていきます。受け継がれてきた基本を守りながら、島田青年会議所は様々な進化を遂げてまいりました。今、時代の変化とともにさらなる進化を求められています。そのためにも、自由な発想で我々はなにを求められているのかを常に模索し続けなくてはなりません。現在に即した組織運営の調査し、研究することで島田青年会議所においても現在に即した組織運営を行い、会員一人ひとりが、青年会議所活動に注力できる環境を築いて参ります。その中で、先輩たちから受け継がれてきた基本を改めて学ぶことが進化をするうえで極めて重要な要素です。定款一つ一つの意味を知り、変化すべきところは変化させ、守るべきところは守る必要があります。会の基盤である、委

員会、理事会、総会といった組織としての意思決定の手法についてさらに精度の向上と透明性の向上を図ります。その精錬された内容により、議論は活発化するとともに、活動に専念することができます。基本を守りながら、今の時代に合わせた進化をしていくことで、会員が前向きに運動を行えるよう組織構築して参ります。

結びに

新型コロナウイルスの感染拡大により、青年会議所は過去経験したことのない窮地に立たされています。今まで、災害などの発生はすぐに行動することができましたが、今はその行動すらも制限されています。しかし、窮地だからこそ、あきらめることなく会員同士の知恵と勇気をもって行動していきましょう。この現状を乗り越えることで地域の人たちが笑顔にあふれ、我々も更なる成長を遂げることができます。困ったときに周りを見渡せば、助けてくれる地元の仲間がいます。仲間とともに、一年間、自分ではない誰かのために新時代へ挑んでいきましょう。

私は島田青年会議所に入会して9年が経とうとしています。その9年間の活動の中で、多くの役職を経験してきました。時には静岡ブロック協議会の委員長としての出向や、国際アカデミーにも参加しました。その行動のきっかけはいつも先輩たちからのお誘いや、仲間たちからの後押しでした。考えなしに飛び込んだ先には、いつも大きな壁がありました。壁を乗り越えようとするとき必ず支えてくれる仲間が現れ、一人では乗り越えられない壁も乗り越えることができます。その仲間たちとの活動を振り返ると、やりがいと達成感、楽しかったことが蘇ってきます。それが今でも私の青年会議所運動の原動力です。難しいことは考えず、とにかく行動してみてください。今まで見えてこなかったことが見えてきて、乗り越えられないと思っていた壁は仲間の支えとともに乗り越えられます。振り返れば自分のやってきたことと青年会議所運動が楽しかったと思えるはずです。今この時代だからこそできることを模索しながら、ともに青年会議所運動に邁進していきましょう。

基本運営方針

すべての業務は一般社団法人島田青年会議所の
定款並びに各種諸規定に沿って行う

職務分掌①

筆頭副理事長

1. 会務全般の掌握及び指導
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 理事会・正副ミーティングの統括及び推進
会員クラブ（忘年会）

副理事長

1. 担当委員会の掌握及び指導
会員クラブ（会員親睦会）

専務理事

1. 理事長・副理事長の補佐
2. 担当委員会の掌握及び指導
3. 会計財務管理業務
4. 投票率向上事業の調査・研究
5. LOM内褒賞の企画・運営

職務分掌②

ひとづくり・まちづくり委員会及び委員長

1. 新入会員の拡大
2. 1月例会の企画・運営（1月例会）
3. 交流例会の企画・運営（4月例会）（J C I 榛南主管）
4. 青少年の健全な育成に寄与する例会の企画・運営（8月例会）
5. まちづくり例会の企画・運営（11月例会）

拡大・広報委員会及び委員長

1. 新入会員の拡大及び統括
2. 会員拡大のための調査・研究
3. 新入会員準備業務
4. 新入会員のフォローアップ
5. 3月中旬部5 J C 合同例会の企画・運営（3月例会）
6. 人間力開発例会の企画・運営（6月例会）
7. 経営力開発例会の企画・運営（9月例会）
8. しまだ大井川マラソンへの協力
9. 卒業式の企画・運営
10. 災害に備えた組織構築および防災に資する活動の推進
11. ホームページ・SNSの更新

総務事務局及び事務局長

1. 新入会員の拡大
2. 理事会・正副MTGの設営
3. 各会議の議事録作成業務
4. 総会資料の作成業務
5. 総会の企画・運営（2月例会・7月例会・12月例会）
6. 自由テーマ例会の企画・運営（5月例会）
7. 交流例会の企画・運営（10月例会）（J C I 島田主管）
8. 卒業アルバムの作成
9. 選挙管理委員会の運営
10. 当該年度の備品準備業務
11. 渉外業務
12. その他、庶務規定 第2章「事務局」に則り業務

委員会別分担表

月	事業名	ひと・まち	拡大・広報	総務事務局	正副
1	1月例会の企画・運営	○		ホ	
2	2月通常総会例会の企画・運営		ホ	○	
3	3月中旬部5JC合同例会の企画・運営	ホ	○		
4	交流例会の企画・運営（4月例会）	○		ホ	
5	自由テーマ例会の企画・運営（5月例会）		ホ	○	
6	人間力開発例会の企画・運営（6月例会）		○	ホ	
7	7月通常総会例会の企画・運営（7月例会） 会員親睦会の企画・運営（会員クラブ）	ホ		○	○
8	青少年の健全な育成に寄与する例会の企画・運営（8月例会）	○	ホ		
9	経営力開発例会の企画・運営（9月例会）		○	ホ	
10	交流例会の企画・運営（10月例会） しまだ大井川マラソンへの協力	ホ	○	○	
11	まちづくり例会（11月例会）	○		ホ	
12	12月通常総会例会の企画・運営 卒業式の企画・運営 忘年会の企画・運営（会員クラブ）	ホ ホ	○	○	○

○：例会（事業）担当

ホ：例会ホスト担当